



委員会等活動成果

国際関係委員会 欧州調査部会

“The Actuary”の記事紹介

Pick Up

英国アクチュアリー会月刊誌「The Actuary」2004年10月号から

2004年10月29日

長期貯蓄商品の信頼回復に向けて Cleaning Up Their Act

■長期貯蓄商品の信頼回復に向けた動き

現在、英国では、近年損なわれた長期貯蓄商品への消費者の信頼の回復に向けた動きが活発となっている。英国の長期貯蓄市場は、1.9兆£（約380兆円）以上の規模があると言われ、この市場が健全に機能することが、同市場の発展と経済成長、高齢化社会における自助努力の推進（注）等のために必要不可欠なものとなっている。

このような状況にあって、英国下院の財務委員会（House of Commons Treasury Committee）は、それまでの関係者との、諮問（consultation）と意見表明（response）のプロセスを経て、今夏、この問題に関する報告書（Restoring confidence in long-term savings）（以下、「財務委員会報告書」）を公表した。

■財務委員会報告書の概要

財務委員会報告書では、情報開示の推進、監督強化など、多岐にわたる問題指摘と解決方策が提案されている。保険会社が取扱う有配当（With Profit）商品については1章が割かれており、「契約者は有配当ファンドの投資リターンを把握することができず、明確な説明もないまま解約時にペナルティを受けているため、有配当商品を契約しようとする意欲がそがれている」との現状認識を示した上で、信頼回復に向け「有配当ファンドの契約者が満足に取り扱われる環境を、FSAが確保することが重要である」と結論付けている。

■英国アクチュアリー会による意見表明

財務委員会報告書の公表に先立ち、英国アクチュアリー会は、今年1月の時点で、英国下院委員会事務局（House of Commons Committee Office）からの諮問に対し、「公的年金を貧困層の



救済とともに自助努力を促進するものへと再構築すべき」、「消費者に対する金融教育を奨励すべき」等の意見表明を行っている（consultation response: Response to the Treasury Select Committee-Restoring confidence in long-term savings）。

■本問題に対するアクチュアリー関心の高さ

The Actuary 10月号の記事"Cleaning Up Their Act"は、上に紹介した財務委員会報告書の概要、アクチュアリー会の反応等について紹介するとともに、執筆者の考えを展開しているものとなっている。また、先般就任したInstitute新会長のMichael Alan Pomery氏による就任挨拶文は、題名がまさに「長期貯蓄商品の信頼回復に向けて（Restoring Confidence in Long-Term Savings）」となっており、英国のアクチュアリーが本問題に極めて高い関心を寄せ、取り組んでいることが窺える。

（注）英国における、死亡率改善と年金財政への影響の問題については、当欄2003年11月分に関連するテーマを取り上げているのでご参照されたい

原文をお読みにになりたい方は英国アクチュアリー会のHPをご覧ください。

<http://www.the-actuary.org.uk/>

"CLEANING UP THEIR ACT"